

2017年9月6日

通貨ニュース

豪州:9月RBA理事会 - 豪ドル高への懸念は強めず

- 豪州準備銀行(中央銀行、RBA)は9月5日に政策理事会を開催し、政策金利であるオフィシャルキャッシュレートの誘導目標を市場の予想通り1.50%に据え置くことを決定した。
- 声明文は総じて大きな変化はなく、注目されていた豪ドルレートに関する記述も据え置きで、一段の豪ドル高けん制には至らなかった。
- RBAは中立姿勢の継続を示唆しており、2017年、2018年ともに政策金利を据え置くとの予想を維持する。

国際為替部
マーケット・エコノミスト
多田出 健太
03-3242-7065
kenta.tadaide@mizuho-bk.co.jp

RBAは9月5日に政策理事会を開催し、政策金利であるオフィシャルキャッシュレートの誘導目標を市場の予想通り1.50%に据え置くことを決定した。据え置きは2016年8月の利下げ以来、12回連続である。ブルームバーグ調査では27人全員が今回の政策理事会での政策金利据え置きを予想していた。金融市場では発表直後にAUDUSDが0.7960近辺でやや振れたものの小動きにとどまり、金利先物市場が織り込む1年後(2019年9月)までの利上げ確率は76.2%と、先週末(9月1日)時点の79.5%から小幅に低下した。

声明文は前回(8月1日)からほとんど変わっていない。AUDUSDが0.80台をうかがう展開となる中で豪ドルレートに関する記述に注目が集まっていたが、RBAは前回の文言を踏襲している。前回会合では、それまでの「2013年以降の通貨安も、鉱業投資ブーム後の移行期の経済を支えている。通貨高はこの調整を複雑にする可能性がある」との表現から「米ドル安も一因となり、豪ドルはこのところ上昇している。通貨高は物価圧力の抑制の一因となることが見込まれる。また、生産と雇用の見通しの重石にもなっている。通貨の上昇により、経済活動の好転とインフレ率の上昇は、現在予想されているペースより緩やかになることが見込まれる」に修正し、豪ドル高に対する懸念を表明した。足許のAUDUSDの水準は前回会合時とほぼ同じであり、一段と強いけん制に踏み込むことは見送ったともと思われる。

さらに声明文の内容を見ていくと、RBAは国内経済について「最近のデータは豪経済が今後数年間に徐々に上向くとのRBAの予想と一致している」としたほか、「非鉱業投資の見通しは最近改善しており、報告されている事業状況も高い水準にある」と指摘した。他方、個人消費に関しては「小売売上高は最近回復したが、実質賃金の低迷と高水準の家計債務が消費の伸びを抑制する可能性がある」として慎重姿勢を維持している。

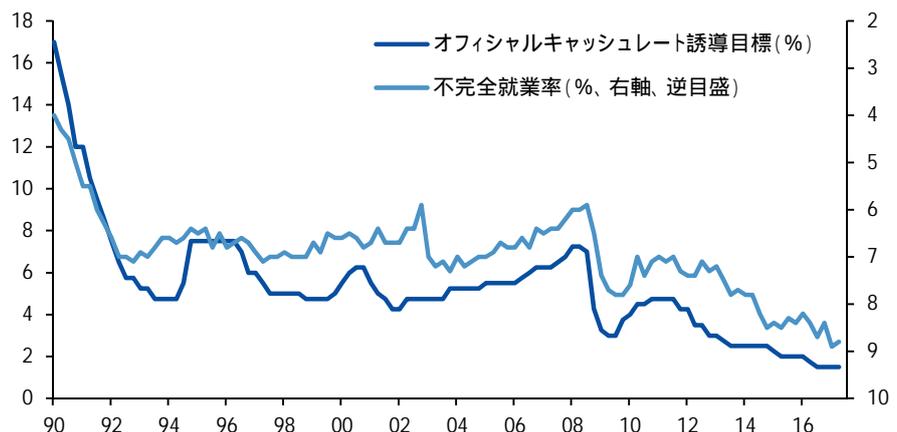
住宅市場についても、価格上昇が和らいでいる地域としてシドニーの名前を明示した以外に変更はない。

結びの段落も前回と同じ「低水準の金利は引き続き豪経済を支援している。入手可能な情報を考慮し、理事会は今回の会合で金融政策スタンスを維持することが、持続可能な経済成長およびインフレ目標の達成と整合的と判断した」との文章で締めくくっている。

6月末以降に盛り上がった先進国の中央銀行による正常化ブームは収束した感が強まっているが、RBAは当初からそうした動きに無条件で追随することはないとのメッセージを発信してきた。RBAのロウ総裁が8月に、かなり先になるとした上で「次の動きが利下げよりも利上げだろうとの市場予想は妥当である」と述べているように、次の一手は利上げになる可能性が高いだろう。もっとも、世界的現象ではあるものの、豪州でも賃金上昇は鈍く、基調的なインフレ率はRBAの目標下限を下回る状況が続いている。鉱業投資ブーム後の調整は一段落したが、経済成長を促す新たなドライバーが見つからない中で、成長ペースが大きく加速することも期待し難い。懸案だった住宅価格の騰勢には一服感がみられており、RBAが現状の金融政策からの正常化を急ぐことはないだろう。

全体として、声明文の内容は現在の中立姿勢が継続することを示唆しており、RBAは2017年、2018年ともに政策金利を据え置くとの予想を維持する。

図表 1: 不完全就業率とオフィシャルキャッシュレート誘導目標



出所: 豪州準備銀行、豪州統計局、ブルームバーグ、みずほ銀行

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。